

- ▶ 住田町では、公共施設の木造化を進め、木材利用の普及啓発に積極的に取り組んでいく方針。
- ▶ これまでに役場庁舎や消防庁舎、地区公民館等を木造で建設。令和2年度においては、木造による集合型の町営住宅を2棟建設した。
- ▶ 令和3年度においても、仕事・学びの場創出事業として木造による拠点施設を整備する予定。

□ 事業内容

1 公共施設の木造化

- 木造による集合型の町営住宅を2棟建設

【事業費】162,267千円（うち譲与税24,251千円）

（譲与税は、木質材料費（調達経費含む）及び木工事費分に充当）

【実績】木材使用量103m³



（町営清水沢団地外観）



（町営住宅清水沢団地内観）



（町営火石団地外観）



（町営住宅火石団地内観）



□ 工夫・留意した点

- 木構造や木仕上げ材料は、町内産スギ及びカラマツを使用し、町内業者から材の供給を受けた。
- 町内の集成材工場から部材を調達するため、構造材をすべて当該工場で作成できるようなメンバー（120mm×450mm以下）とし、架構の設計を行った。
- 町内の集成材工場で作成可能な材長である6mを超えないよう、気仙大工の技術が生きる伝統工法を活かした継手と仕口を用いながら、強度上必要な部分には、スチールで補強を入れるハイブリッドな計画とした。
- 町産材の木仕上げをふんだんに用いることで、住田町の現在の技術を伝えることのできるショールームとしての役割を持たせた。

◇ 基礎データ

①令和2年度譲与額	29,210千円
②私有林人工林面積（※1）	5,366.14ha
③林野率（※2）	89.7%
④人口（※3）	5,720人
⑤林業就業者数（※3）	63人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3：「H27年国勢調査」より